

令和6年6月20日会議概要

第1 日時

令和6年6月20日（木）午前9時20分から午前11時40分までの間

第2 出席者

増田委員長、在田委員、池坊委員、森委員、森田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

京都府開庁記念日（6月19日）

委員から、「1部は優良職員等の表彰状等の贈呈、2部では、特別功労表彰等の贈呈が行われた。」旨、報告があった。

2 議題

(1) 第11回京都ストーカー総合対策ネットワーク会議の開催について

生活安全部長から、本年7月5日、ストーカー対策に関係する関係機関・団体と情報共有を行い、ストーカー事案に対する切れ目のない対策を行うことを目的として平成30年から開催されている京都ストーカー総合対策ネットワーク会議を開催する旨、報告があった。参加機関は、行政やカウンセリング、被害者支援に関わる機関、学識経験者等13機関23名で、当日は、現状報告のほか、関係機関との更なる連携として、京都保護観察所から再出発（リスタート）をサポートする「リスタポ」の取組に関する報告があるもので、ストーカー加害者の立ち直りにも生かせるのではないかと期待をしている。最後に「カウンセリングの充実に向けた方策」等をテーマとしてグループディスカッションを行うこととしており、会議で出された様々な意見を今後のストーカー対策に生かしていきたい旨、説明があった。

委員から、「非常に難しい事案で、まだまだ手探りの状況が続くかもしれないが、よろしく願います。」旨、発言があった。

(2) 「京都芸術花火2024」に対する雑踏警備について

地域部長から、本年6月26日、京都競馬場において5年ぶり3回目となる「京都芸術花火2024」が開催されるにあたり、警察は83名態勢、主催者側は約600名の態勢で警備に当たることとしている旨、報告があった。主要対策として、京阪「淀」駅ホームと連絡通路の目隠し措置等による入場時の動線（滞留）対策、ターフヴィジョンによる注意喚起広報や、時差退場等による退場時の混雑対策、宇治川河川敷の観衆対策等の雑踏対策、主催者側の警備員を広範囲に配置させた交通対策、専用道路入口に阻止車両等を配備するほか、部隊員による会場内の事前検索の実施等、突発事案対策を行う等、緊張感をもって警備実施にあたる旨、説明があった。

委員から、「事前に色々なことを想定して準備していることは非常に有効的である。事前の対策と当日の警備を両輪で願います。」旨、発言があった。

(3) 京都テロ対策ネットワーク第10回総会（拡大会議）の開催について

警備部長から、来年開催される「大阪関西万博」を見据え、現下の厳しいテロ情勢について認識を共有するとともに、テロ対策への理解と協力を得ることで官民一体となったテロ対策を強力に推進することを目的に、「京都テロ対策ネットワーク総会（拡大会議）」を本年7月4日、京都競馬場において開催、その後同競馬場パドック周辺において「テロ対処訓練」をする旨、報告があった。当日は、府警本部が主体となっている京都テロ対策ネットワーク61団体から48団体が、伏見署が主体となっている伏見テロ対策ネットワーク21団体から13団体（予定）が参加して、国際テロの情勢や具体的な事例について説明の後、伏見署員や機動隊員のほか、競馬場のスタッフやガードマンの参加を得て、凶器をもって暴れる者がいる等の想定に基づき110番通報や、避難誘導等の訓練を行うこととしている旨、説明があった。

委員から、「万博を見据えて、緊張感をもって準備をしていただきたい。」旨、発言があった。

(4) 小学校低学年を対象としたコンテンツ等の制作について

サイバー対策本部長から、インターネット利用の低年齢化が進む中、今後様々なネットトラブルが予想されることから、情報モラルの向上を図ることを目的として、プロのイラストレーターの協力を得て、小学生向けのコンテンツ3種類、高校・大学生向けのコンテンツ1種類を作成した旨、報告があった。本年6月25日、八幡市立八幡小学校でのお披露目を皮切りに、複数の小学校でネット安心アドバイザーによる講演とコンテンツ上映の予定が入っている旨、説明があった。

委員から、「コンテンツは大変有意義であり、今後幅広く活用できるような仕組みをお願いしたい。」「子供が犯罪に巻き込まれる防止対策として家庭教育も考えていく必要がある。」旨、発言があった。

(5) 令和6年三府県合同機動警察通信隊訓練の実施について

情報通信部長から、他府県との共同活動における練度向上を目的として京都、滋賀、福井の三府県で持ち回りで毎年実施している「三府県合同機動警察通信隊訓練」を本年6月25日実施する旨、報告があった。京都府北部を震源地とする地震が発生、福井県西部の原子力発電所の現場映像が必要となったものの、無線中継所の設備が一部損壊、滋賀県及び福井県情報通信部に応援を要請、共同して事案対処する旨の想定に基づき、京都、福井、滋賀から参加した23名が部隊輸送や資機材搬送、無線通信、現地本部設営、映像伝送等訓練を実施することとしている。

委員から、「能登半島地震の経験から、極めて重要な訓練でありよろしく願います。」旨、発言があった。

(6) 監察案件（1件）

首席監察官から、監察案件1件について報告があった。

3 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（1件）

監察官室訟務官から、運転免許の更新処分を受けた者（1件1名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

- (2) 警備業法施行規則の一部改正に伴う京都府公安委員会事務専決規程の一部改正について
生活安全企画課担当補佐から、警備業法施行規則が一部改正され、警備業に係る機械警備業務管理者の選任に関する規程等が改正されることから、京都府公安委員会事務専決規程を一部改正する旨、説明があり、審議の上、決定した。
- (3) 令和6年能登半島地震に伴う「特別自動車警ら部隊（近畿管区第17次）」の派遣について
地域課企画担当補佐から、警察法第60条第1項に基づく石川県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。
- (4) 特定抗争指定暴力団の指定期限の延長について
捜査第四課主席調査官から、指定暴力団六代目山口組及び指定暴力団神戸山口組を特定抗争指定暴力団として指定期限を延長する必要性について説明があり、審議の上延長を決定した。
- (5) 福井県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について
警備対策官から、警察法第60条第1項に基づく福井県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。
- (6) 公安委員会宛苦情について（処理2件）
公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出2件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

4 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、10件の行政処分を審議した。

5 個別報告

(1) 京都府情報公開・個人情報保護審査会への諮問について

情報公開室担当補佐から、公文書部分公開決定に対する審査請求について、京都府情報公開・個人情報保護審議会への諮問をする旨、報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。